

# デング熱について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000131101.html>

デング熱は、蚊に刺されることによって感染する疾患です。

デング熱は急激な発熱で発症し、発疹、頭痛、骨関節痛、嘔気・嘔吐などの症状が見られます。通常、発症後2～7日で解熱し、発疹は解熱時期に出現します。デング熱患者の一部は、まれに重症化してデング出血熱やデングショック症候群を発症することがあり、早期に適切な治療が行われなければ死に至ることがあります。

屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊にさされないよう注意してください。



厚生労働省

## ジカ熱・デング熱対策

### 感染症の運び屋 蚊から

# バリアで身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に滞在する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

虫除け剤バリア

虫除け剤を使いましょう

服バリア

出かけるときは肌の露出が  
少ない服装にしましょう

●なぜ対策が必要?  
ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?  
感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小児症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

【ヒトスジシマカ】  
学名: Aedes albopictus (スズメバチ科)  
分布: 日本全土(北海道を除く)  
吸血: 日中吸血(吸血時間帯は夕方から夜間)  
産卵: 水たまり(コンクリート、プラスチック、紙の容器など)  
寿命: 約1週間(吸血回数: 約10回)

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚生労働省 検索 | デング熱 厚生労働省 検索

厚生労働省

## ジカ熱・デング熱対策

### ジカ熱・デング熱の運び屋

# ヒトスジシマカの発生源を叩け!

■ 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう!

■ 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう!

水たまり除去・清掃

樹木鉢の皿  
雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり  
雨ざらしの用具  
屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル

下草刈り

風通しの悪い やぶ・藪むら  
公園、学校、寺社、空海港、駅などの施設を管理されている方もご協力をお願いします!  
詰まった排水溝

●なぜ対策が必要?  
ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?  
感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小児症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

【ヒトスジシマカ】  
学名: Aedes albopictus (スズメバチ科)  
分布: 日本全土(北海道を除く)  
吸血: 日中吸血(吸血時間帯は夕方から夜間)  
産卵: 水たまり(コンクリート、プラスチック、紙の容器など)  
寿命: 約1週間(吸血回数: 約10回)

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚生労働省 検索 | デング熱 厚生労働省 検索

蚊が媒介する感染症「デング熱」が世界で大流行し、今年の患者数が1000万人を超えた。世界保健機関(WHO)などの集計で判明した。年間患者数が過去最悪だった2023年(約630万人)を既に大きく上回っており、今後は夏季を迎えた地域での流行も懸念される。

日本では14年と19年に国内感染が確認された。国立感染症研究所によると、20年以降は海外で感染した人が国内で発症する「輸入症例」のみだが、今年は6月30日までに96人の症例が報告され、23年同時期の2.8倍となっている。